

# 雲林寺報 第40号

恩心

令和8年1月発行



謹んで新春のお慶びを申し上げます

二十一世紀も四分の一が過ぎ、インターネットの普及、グローバル化の加速など、私達は今、文明の華やかさと情報の多さに圧倒され、静かに自分の行いを反省したり、間をつくりと世界のことを考えたりする時間が持つことができない時代を生きています。

しかし、自分が他の人々や生き物たちとは違う才ソリーワンの自分としてこの時代に誕生した不思議さを思うとき、時代の流れにただ身を任せねばよいのか、その流れのままこの一生を終えられるだけよいのかと、悩む人も少なくない

までは迦約か終と思ひます。五百年前、ネパールの釈迦王子として生まれた釈尊を求める旅の果てに悟りに佛教が誕生しました。そして釈尊によつて、生きている各々が「自分の心をしつかり見つめることで自分に広まり、現代に至つてきます。そして自分の心をしつかり見つめる」ことから本当の道が開けるといふ原点は変わってい



## 護持会だより



【総代】  
長野原  
【寺世話人】  
佐藤良元  
宮崎透  
櫻井輝久

山口次夫  
永井芳司  
田村俊樹

割田伸男  
宮崎雅夫  
長谷川浩一  
嶋村久夫  
小林弘  
黒岩清次  
小林柳一  
岩田紀重  
田島敏治

大津  
北輕井沢  
横壁  
羽根尾  
川原湯  
喜屋  
尾  
森

岩木夏雄  
浅見良雄  
篠原博史  
岩木青美  
斎藤恒善  
飯島英國  
水原義一  
中原篤  
中山市  
湯本義  
村口  
林村  
本村  
湯本  
茂真  
秋剛  
寛剛  
眞茂  
秋眞  
篠原義  
一  
西山義  
夫

## 雲林寺の主な年間予定

年頭の御挨拶回り

初観音

二ページ参照

節分会

二ページ参照

涅槃公開

三ページ参照

涅槃会

四ページ参照

大天護持

一般般若会

施明持

降誕会

尊降誕会

花まつり

第六十成

秋彼岸

大天護持

食物供養

第六十成

秋彼岸

## 9月26日 「生死～いきたひ～」 上映会 ～看取りをテーマにしたドキュメンタリー映画～

本堂で、映画「生死～いきたひ～」の上映会、及び、監督である長谷川ひろ子さんの講演会を開催しました。この映画は、余命半年の宣告を受けた長谷川さんご主人の闘病生活を記録映像として残したもので、看取りをテーマにしたドキュメンタリー映画です。ご覧になったお客様からは、「死の有り方、自分の死、家族の死、今後の自分の人生をあらためて見つめ直すきっかけとなりました」というご感想をいただきました。



## 9月28日 合祀慰靈祭（拓魂祭）

～3339柱の冥福祈る～

群馬県から開拓団や義勇軍として旧満州に渡った後に亡くなった人を弔う、第51回合祀慰靈祭（拓魂祭）が北軽井沢の「群馬満蒙拓魂の塔」で開かれました。



遺族や関係者80名の方が参列し、故人の冥福を祈りました。毎年この時期に慰靈法要を開き、塔の合祀者は3339人となりました。

## 10月11日 JR東日本主催 駅からハイキング



県立長野原高等学校の生徒さんが考案されたハイキングコースの中に雲林寺を入れて頂き、2班に分かれ多くの方にご来山して頂きました。

## 10月13日 少年サッカーチーム坐禅会

榛東村の少年サッカーチームの皆様が坐禅体験にお越し頂きました。普段あまり行く機会がないという、お寺という空間にも親しんでいただき、とても和やかな時間を過ごして頂けました。



云林寺大節分会  
二月三日午後六時  
特別一般祈祷  
内申しへ込みは別紙  
ご確認下さい。  
「節分会御案  
三五〇〇〇円

昨年12月21日、有志の皆さん8名により本堂のすす払いをして頂きました。ありがとうございました。



有志によるすす払い

## 8月5日 天明の大噴火物故者供養 ～溶岩泥流より逃げ切った13世住職～

江戸時代の1783年（天明3年）8月5日、浅間山史上最も大きな大噴火が発生しました。噴火による大規模泥流により長野原町は一瞬にして溶岩泥流に溢れ泥海と化し、死者約250人、鎌原に次ぐ大きな被害を受けました。

雲林寺の本堂も流失されました。

当時の住職であった13世枝転梅応（してんぱいおう）大和尚はご本尊と過去帳を持って溶岩泥流から逃げ切りました。

雲林寺の過去帳には被害によりお亡くなりになられた方の記録が全て残されています。毎年、8月5日に供養しご冥福をお祈りします。（表紙の写真）

## 8月14日 施食会（せじきえ）

～魂をむかえ、そしてまたお見送りする～

施食会（せじき）は施餓鬼（せがき）ともよばれます。

亡くなった人々に感謝の誠を捧げるために食を施させていただくという大切な行事です。雲林寺ではお盆の時期に厳修しております。

法要の途中で、チン！ ドン！ ジャラーン！ と賑やかな鳴り物が響き渡る場面がございます。

これは曹洞宗のみで見られる光景で、鼓鉦三通（くはつさんつう）と呼ばれます。

これは故人様が仏の弟子として仏の世界へと旅立つこと盛大にお見送りするという意味があります。故人様への敬意を欠かすことなく魂を迎え、そしてまた見送りたいものです。



## 10月8日 写経&坐禅体験

～自分を見つめ直す良い機会～

西吾妻3ヶ町村（長野原・草津・東吾妻）の連携講座で、「写経と坐禅体験」がございました。寺の静寂の中で日本の精神文化を学ぶ機会として毎年人気があるようです。

写経も坐禅も、心を静かにし、日常の喧騒から離れて自分自身と向き合う時間を与えてくれます。



昨年9月17日、嬬恋高原ゴルフ場にて親睦ゴルフコンペが開催されました。檀信徒皆様の親睦を深めることを目的としたゴルフコンペで、終了後は本堂でパーティーを行ない、さらに交流を深めて頂いております。また、景品を沢山の方にご寄贈頂きました。ありがとうございました。今年多くのご参加をお待ちしております。



第十五回雲林寺  
親睦ゴルフコンペ

# 涅槃図とお通夜

お通夜は、お釈迦様の最期、涅槃（ねはん）に入られた時のご様子が由来となつた法要です。お釈迦様の弟子たちが「夜通し教えを確認し合つた」ということが元となつて、私たちはお通夜を嘗みます。

お釈迦様が入滅した時の様子の絵を「涅槃図」といいます。涅槃図は、弟子たちや動物たちがお釈迦さまの死を深く悲しんでいます。しかし、その悲しみはお釈迦さまの教えを改めて見つめ直すきっかけにもなっています。



お釈迦さまの生母、摩耶（まや）夫人です。天女たちに付き添われ、息子のもとへ向かっているところです。摩耶夫人は、今まさに涅槃に入ろうとしているお釈迦さまに長寿の薬を投げ、もつと長く多くの人にその教えを説いて欲しいとの願い、やつて来たのです。赤い袋は長寿の薬です。摩耶夫人がお釈迦様に向けて、薬を投げましたが木に引っかかってしまい、結局間に合わなかつた事を表しています。摩耶夫人が投げた薬袋を投薬といい、現在の「投薬」の語源になっています。



お釈迦様の顔は安らかです。  
心安らかに満たされて生き、心安らかに満たされて死ぬ。それが理想の生き方、理想の亡くなり方だと 思います。涅槃図は、理想の死を描いているのです。

「ミルク粥」を食べさせてもらい、体力が回復し、菩提樹の下で坐禅し、ついに悟りに達しました。この時の娘の名前が「スジヤータ」です。コーヒーに入れるフレッシュで有名な「スジヤータめいらく」の社名は、村娘の名前が由来です。

お釈迦様は北向きで横たわっており、今日でも亡くなつた方を北枕で安置するの故に、この故事からきています。

ねずみです。ねずみが薬をお釈迦様に届けようとしたら、猫に邪魔されてしまいました。よつて猫は涅槃図に描かれておりません。猫はこの件をきっかけに十二支から外されたとされています。

唯一お釈迦さまのお体に触れている人物がいます。諸説あります。が、お釈迦さまが生前、ついに「悟り」に達するきっかけとなったスジャータです。

お釈迦様は、悟りを開こうと六年にも渡り難行を続けました。やせ細ったお釈迦様は通りかかった村で、村娘か

今大会の清興は篠笛奏者、富沢優香先生の演奏と梅花流との共演曲として「迎火」「三宝御和讚」を演奏していただきました。素晴らしい音色の篠笛と太鼓、音色のみやびみの世界へと引いました。

第六十七回梅花流群馬県奉詠大根沼田文化会館にて開催されました。今年度の大会は初めての午後開催となり、時間的余裕を持つて会場入りをいたしました。開会式に続き、登壇奉詠ですが講員さんの減少により、六、七、十、六教区との合同登壇となります。奉詠曲は地蔵菩薩御和讃と慈念ですが、延命福德をもたらす御地蔵様の救いを胸に心のこもった奉詠となりました。

梅花流たより



雲林寺の涅槃図は、寛政七年（一七九五年）に制作された、一三〇年前から伝わるものであります。二月はいつでも本堂内で公開しておりますのでお気軽にお越し下さい。  
涅槃図を解説した冊子「構図に込められた祈りと願い」とあります。左側には、涅槃図に込められた祈りと願いの説明文が記載されています。

一〇六年年回正当のお知らせ

御名前は施主様になります。八月十四日の施食会のご案内を施主様に通知させて頂きます。年回に当たらないでいいしない施主様もご連絡頂ければ先祖代々の塔婆を用意します。

剛⑦靖竹①①之川三男様  
様本様渕篠櫻様  
多⑯京原井⑦浅川よし子様  
山信橋子十正小林③  
口義詰様三宏林③  
喜様淳③男様成加嶋花以様  
正③一⑯様③子嶋花以様  
様宮様土⑬⑦様花以様  
崎⑯田篠⑬③坂藤井⑯石坂  
山賢橋浩原佐坂藤井⑯石坂  
崎人詰様博藤智加  
裕様俊⑦史昭智加  
治③英富様久典部恒  
様八様澤⑯様様  
木③冬芝⑬⑯夫テル子  
山広堀子田篠酒様  
田美込様尚原井③  
秀⑦秀①登浩保小  
美山次永様次治池  
様口様井①様様正市

沢正浩様<sup>23</sup> 岩裕也様<sup>1</sup> 岩井隆様<sup>1</sup> 黒岩清次様<sup>1</sup> 黒  
一様<sup>7</sup> 関和夫様<sup>21</sup> 高原實様<sup>3</sup> 武井泰彦様<sup>13</sup> 高橋慎  
已様<sup>1</sup> 山口淳様<sup>27</sup> 丸山正義秋様<sup>1</sup>  
湯本幸雄様<sup>17</sup> 山口淳様<sup>3</sup> 丸山正義秋様<sup>1</sup>

【応桑・嬬恋村】井口麻由美様⑯片山瞳様⑯小室今朝夫様⑯田村幹男様⑯中村昌次様⑯野口幸保様⑯町田健吉様⑯山崎友子様⑯

〔草津町〕安斎克仁様⑯浦野友和様⑯小林貴様⑯

〔高崎市〕篠原真理様⑯服部義則様⑯増田恵之様⑯吉川克三様⑯

〔高崎市〕阿野幸子様⑯黒岩伸泰様⑯篠原忠夫様⑯

〔太田市〕戸塚泉様⑯野口市子様⑯野口光一様⑯

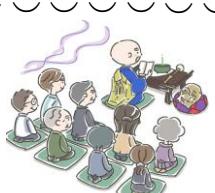
〔渋川市〕狩野悦子様⑯唐澤信夫様⑯野口久夫様⑯

〔前橋市〕三俣清治様⑯

雲林寺大般若會

二月二十七日（月  
午前十一時

大般若經六〇〇卷を転説  
し、心願成就、家内安全を  
祈願いたします。  
どなたでもご参加可能で  
すので、是非お越し下さい。



三二二一一七三一  
三七三七三回回周忌  
回回回回回忌忌  
忌忌忌忌忌  
  
平平平平平令令令  
成成成成成和和和  
— — — —  
六二六三六二六二六七  
年年年年年年年年  
（—）（—）（—）（—）  
— — — —  
九〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
九〇〇一—二二二  
四〇四〇四〇四〇四五  
四〇四〇四〇四〇四五

【安中市】 小泉文子様 ②7 山口道伸様 ②7  
【桐生市】 野口克也様 ②7  
【長野県】 大谷よし子様 ⑯7 北島一浩様 ⑯3 下田恵  
美子様 ⑯3  
【埼玉県】 市川貴様 ③ 市村康弘様 ⑦ 唐澤幸江様  
⑦ 野口正志様 ⑯3 萩原寛様 ⑯7 萩原寿美江様 ⑯3 福田  
久夫様 ③ 横田誠様 ③ ㉚ ㉗  
【東京都】 梶原香織様 ③ ③ 萩原勉様 ⑦ 萩原渡様  
① 宮崎千鶴様 ㉚ 篠原高様 ① 伊藤さゆり様 ①  
【神奈川県】 市川憲三様 ㉚ 大木真由美様 ⑯3 黒岩  
千絵様 ⑯3 小林正典様 ③ 杉本亮子様 ③ 豊田美明様  
⑯3 野口達哉様 ⑯3 藤江雅子様 ⑦  
【千葉県】 浅沼睦樹様 ① 市村広様 ③ 芝田守男様  
⑯7 嶋村清様 ⑯7 清村正子様 ⑯3 森本拓也様 ⑯3  
お名前の誤字脱字、年回施主様に落ちがありまし  
たらご了承願います。